

# 為替変動の影響に関する調査

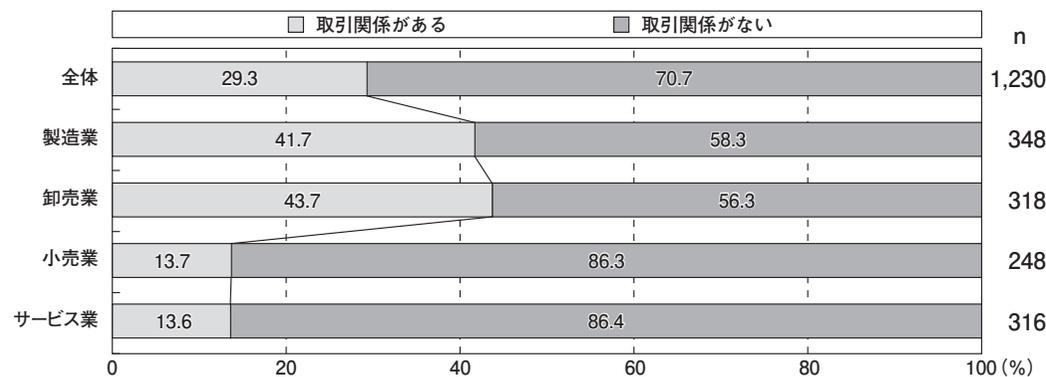
(令和2年8月調査)

## 1. 海外との取引関係の有無

海外と何らかの取引関係があるかどうかを尋ねたところ、「取引関係がある」とした企業は約3割であった。約7割の企業は、海外との「取引関係がない」と回答した。

業種別にみると、「取引関係がある」と回答した企業は、卸売業が43.7%と最も高く、次いで製造業が41.7%となった一方、小売業（13.7%）とサービス業（13.6%）は、ともに2割未満にとどまった。

図表1 海外との取引関係の有無



注) 無回答を除き集計。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

## 2. 海外との取引関係の内容

海外との取引関係の有無（図表1）で「取引関係がある」とした企業に、どのような内容かを尋ねたところ、「輸入」（55.9%）が最も高く、次いで「輸出（商社経由を含む）」（以下「輸出」という。）（39.7%）、「顧客が輸出」（18.7%）の順となり、「現地拠点」（6.1%）や「業務提携」（5.0%）の割合は1割を下回った。

業種別にみると、「輸入」が第1位となったのは卸売業（74.6%）、小売業（70.6%）である。製造業では第1位が「輸出」（53.8%）、次いで「輸入」（44.1%）となった。

図表2 海外との取引関係の内容

順位 区分	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	n
全体	輸入 55.9	輸出 39.7	顧客が輸出 18.7	その他 9.5	現地拠点 6.1	業務提携 5.0	358
製造業	輸出 53.8	輸入 44.1	顧客が輸出 28.7	現地拠点 10.5	業務提携 7.0	その他 3.5	143
卸売業	輸入 74.6	輸出 36.2	顧客が輸出 13.8	その他 4.3	現地拠点 2.9	業務提携 1.4	138
小売業	輸入 70.6	輸出 14.7	その他 11.8	顧客が輸出 5.9	現地拠点 2.9	業務提携 0.0	34
サービス業	その他 44.2	輸出／輸入 23.3		業務提携 14.0	顧客が輸出 11.6	現地拠点 4.7	43

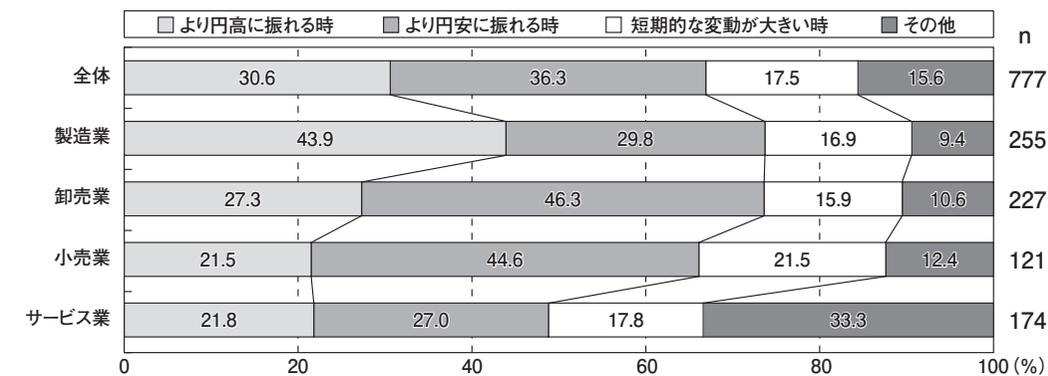
注) 「輸出」は商社経由を含む。海外との取引関係の有無（図表1）で「取引関係がある」とした企業のみを集計。無回答を除き集計。複数回答。

## 3. 為替変動による収益悪化の影響

為替変動により最も収益が悪化するのどのような場合かを尋ねたところ、「より円安に振れる時」（以下「円安」という。）が36.3%、次いで「より円高に振れる時」（以下「円高」という。）が30.6%となった。

業種別にみると、輸入取引の割合が高い卸売業と小売業では、「円安」がそれぞれ46.3%、44.6%と最も高く、「円高」を上回った。一方、商社経由を含む輸出取引の割合が高い製造業は「円高」が43.9%と「円安」を上回った。サービス業では「円安」（27.0%）が「円高」（21.8%）を上回ったが、海外との取引関係がない企業を中心に、「その他」と回答した企業が33.3%を占めた。

図表3 為替変動による収益悪化の影響



注) 無回答を除き集計。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

## 4. 為替変動の影響を受ける通貨

為替変動の影響を受ける通貨を尋ねたところ、海外との「取引関係がある」企業は、第1位「米ドル」(75.9%)、第2位「ユーロ」(20.9%)、第3位「中国元」(14.9%)であった。

業種別にみると、全業種で「米ドル」が第1位を占めた。第2位は、製造業とサービス業では「中国元」、卸売業と小売業は「ユーロ」となった。

図表4 為替変動の影響を受ける通貨

区分	順位	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	n
全体		米ドル 75.9	ユーロ 20.9	中国元 14.9	特になし 10.0	その他通貨 7.2	韓国ウォン 5.7	349
製造業		米ドル 77.7	中国元 18.0	ユーロ 13.7	韓国ウォン 10.8	特になし 10.1	その他通貨 8.6	139
卸売業		米ドル 80.7	ユーロ 25.2	中国元 9.6	特になし 8.1	その他通貨 5.2	韓国ウォン 1.5	135
小売業		米ドル 64.7	ユーロ 32.4	中国元/特になし 11.8		その他通貨 5.9	韓国ウォン 2.9	34
サービス業		米ドル 63.4	中国元 24.4	ユーロ 22.0	特になし 14.6	その他通貨 9.8	韓国ウォン 4.9	41

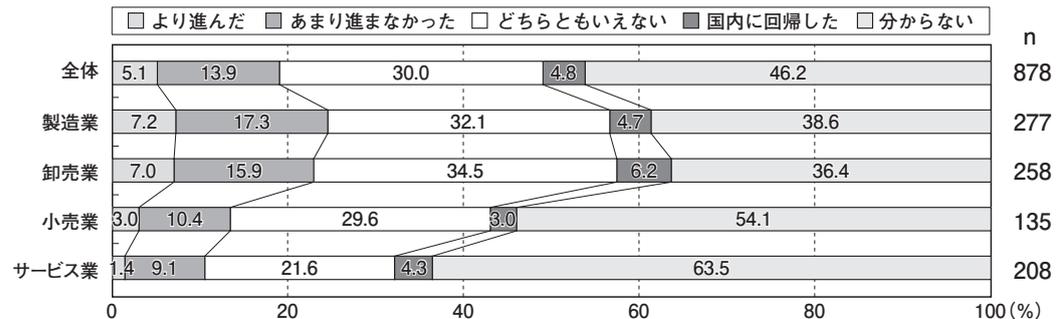
注) 海外との取引関係の有無(図表1)で「取引関係がある」とした企業のみを集計。  
無回答を除き集計。複数回答

## 5. 取引先の海外展開・生産移転の状況

取引先(顧客や仕入先)の1年前と比較した海外展開や生産移転の状況を尋ねたところ、「より進んだ」が5.1%、「あまり進まなかった」が13.9%、「どちらともいえない」が30.0%、「国内に回帰した」が4.8%、「分からない」が46.2%となった。

業種別にみると、「より進んだ」の割合が最も高いのは製造業で7.2%、一方「より進んだ」の割合が最も低いのはサービス業の1.4%であった。

図表5 取引先の海外展開・生産移転の状況



注) 無回答を除き集計。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。